

1 介護保険制度について

- (1) 磐田市の「介護予防・日常生活支援総合事業」がスタートする。「総合事業」の事業者参入意向調査、ヒアリング等を実施したと思われる。参入状況はどうか。また、介護報酬が国基準より低くなり、ヘルパーの確保、実務負担、収益の面においてどのようにとらえているか。安定して質の良いサービスが提供できる状況にあるか、伺う。
- (2) 要支援者の訪問型サービスの家事援助サービスや通所型サービスのいきいきデイサービスの緩和基準サービスの実施に至る検討経過は。介護報酬や従来のサービスがどう変わるのか、伺う。
- (3) 法改定では、要介護認定が必要な場合以外は、要介護認定を省略して基本チェックリストを使用し、総合事業の対象者を選定できるとしている。これは、介護保険利用者を総合事業に誘導するものと考える。磐田市は要介護認定をこれまでどおり実施すると考えるが、見解を。
- (4) 介護人財不足は深刻と思われるが、現状をどう把握しているか。また、研修費補助や介護福祉士受験の助成、無料の訪問型サービス従事者育成研修の実施など、市ができる支援策の展開が必要と考えるが、どうか。
- (5) 65歳以上の障がい者は、これまで受けていた障がい者福祉から優先的に介護保険に移行すると負担が増える。移行状況と軽減制度を実施すべきと考えるがどうか。

2 磐田市の諸課題について

- (1) 浜岡原発の事故を想定した県の広域避難計画が示されている。市の広域避難計画において、避難先市町村や避難経路、避難手段はどこまで策定されているか。また、実効性においてスクリーニングの場所、やり方、移動手段、バスの台数、要配慮者の対応などについて伺う。
- (2) 2018年度から国保の都道府県化(広域化)が予定されている。現在の進捗状況と課題は。また、磐田市や国保加入者にとっての影響について伺う。
- (3) 新東名スマートインターチェンジの供用開始時期を2020年9月にすると2月9日の記者会見で市長は発表をしている。変更内容も示されているが、今後のスケジュールを示されたい。また、将来の都市構造図では産業軸となっているが、今後の幹線道路や周辺の面的整備について、どのような展望をもっているか。
- (4) 基幹的農業従事者の45%以上が70代以上を占めるなど極端な高齢化が進み、耕作放棄地も増えている。磐田市の耕作放棄地の現状と対策は。また、国、県に求めるべき要望について伺う。
- (5) 2019年のラグビーワールドカップキャンプ地に応募しているが、今後の見通しと課題は。また、東京オリンピックに向けての対応について、基本的考え方について伺う。